



くろぶしかんのんすい 黒伏観音水

～令和3年度選定～ Googleマップ

東根市大字観音寺



〔管理者・保全団体〕観音寺生産森林組合

ポイント

黒伏高原へ向かう山間の麓に、冷涼感のある水が湧き出ている。この水場には、水神が祀られており、道路が整備されていない時代は、集落から山仕事に向かう途中の休憩地点であり、欠かすことの出来ない憩いの場所であった。現在でも、多くの人々が水筒を片手に訪れては、水の恵みを楽しんでいる。

黒伏山は、摩天崖と呼ばれる断崖絶壁をそびえる観音寺黒伏山と沢渡黒伏山からなる二峰一山である。四季折々の景観が美しく、特に紅葉時の景観は極めて素晴らしい眺望である。観音寺地区は、平安時代の貞観7年に定額寺となった出羽国観音寺があったこと由来する。平成20年に観音寺集落内にあった水神を移設し、現在の祠を創建した。



湧出口



黒伏山

アクセス (北緯 38.424823°、東経 140.504590°)

天童方面から国道48号線高崎小学校前を左折し、黒伏高原スノーパークへ向かう。途中、右手に間木野集落と採石場が見えるところから3kmほど進むと湧水への入り口である脇道が右手に見える。その道を250mほど進んだ開けた場所の片隅に水場がある。

